

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年1月14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970100636
法人名	有限会社 ファクトリー
事業所名	グループホーム 朋樂
所在地	〒784-0043 高知市はりまや町3丁目16-8
自己評価作成日	平成21年9月20日
評価結果市町村受理日	平成22年1月20日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年10月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970100636&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「ひとりのために、みんなのために」という基本理念のもと、入居者様一人ひとりの今までの暮らしや、これまでの生活の歴史を大切に、地域社会の一員として、当たり前前の生活を当たり前として過ごせる環境づくりと、新しい家族のあり方を共に考えていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

市街地にある事業所は、民家が少なく隣近所としてのつきあいが難しい立地条件の中で、地域に根ざすホームとして模索し工夫している。毎水曜日に「かみかみ・いきいき百歳体操」を地域住民と一緒にを行い、その後の茶話会で親交を深める取り組みのほか、介護相談を計画するなど。地域に開かれた事業所を目指している。また、利用者一人ひとりの「今、出来ることは何か」に目を向け、絵画やことわざカルタなどで、利用者の能力を見出し、持続し、和気藹々とした雰囲気、その人らしい暮らしを支援していくことをケアの基本としている。また、行政と協力関係を築き、職員スキルの向上と併せて口腔ケアに取り組むなど、常に、次のステップを目指した運営に努めている。

自己評価および外部評価結果

ユニット名 ()

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「ひとりのために、みんなのために」というホーム独自の理念のもと、一人ひとりが助け合うために、チームワークを図り、地域に溶け込み、「敷居の高くない暮らし」をして頂ける様、日々努めています。</p>	<p>前回評価の課題を受けて、職員全員で話し合い、地域密着型の趣旨を盛り込んだ理念を作成しており、常にケア会議等で理念の意識付けを行い、実践につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>近所の八幡様等に散歩や清掃活動に出掛け、地域の方々とも顔見知りとなるように努めています。また、毎年事業所全体の夏祭りを開催し、地域のお店にも出店して頂いたり事業所を解放し交流を図っています。</p>	<p>地域の清掃活動等に積極的に参加するとともに、事業所企画の介護予防事業に地域の高齢者にも参加を呼び掛けたり、事業所の夏祭りなど行事を通じて地域に溶け込む取り組みをしている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>毎週水曜日開催の入所者と地域の方々との「かみかみ・いきいき100歳体操」後は、茶話会を催し歓談させて頂いていますが、それらを通して認知症予防の話等を行うと共に、地域の方々と入所者との交流を図る事によって親しんで頂いています。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、ホーム・入所者の状況や、サービスの実際、日々の取り組みについて報告を行い、頂いた意見については検討し、可能な限り改善・実行するように努めています。</p>	<p>事業所の状況等について報告し、委員からも積極的に意見等が出され、双方向的な会議となっている。また、評価で見出された課題についても報告し、改善に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の担当者と、必要時には相談連絡等を行い、職員の口腔ケアのスキルアップや利用者の嚥下状態のチェック等を依頼するなど、関係づくりに努めています。	口腔ケアについて相談し、市の保健師、歯科衛生士から指導を受けるなど、日頃から相談、連絡等が行なえる関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止については職員が正しく理解し、居室はご本人が施錠する場合を除き、施錠していません。また、1階建物入口は7：00～20：00までは施錠せず（夜間は防犯の為、施錠）、ホーム入口は24時間施錠しない等、拘束のないケアに取り組んでいます。	外部の研修会にも参加し、また、毎週木曜日のケア会議の中でも取り上げ、正しい理解に努めている。外出傾向の強い利用者について、家族の了解も得て、夜間のみ居室に施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修に参加したり、また内部での伝達研修を行う等、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入所者のなかには、すでに成年後見制度を利用されている方もおり、今後も利用が必要となれば支援できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご家族の不安や疑問点など傾聴しながら、ホームの理念や、ケアに関する考え方や取り組み、退居を含めた事業所の対応可能な範囲について、解りやすく説明する事で、理解、納得して頂けるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入所者に対してはその方が発する言葉や行動からその想いを察し、傾聴するように努め、ご家族については来所時や定期的に開催している家族会等を通じ、ご意見、ご要望を頂きながら改善、実行に努めています。	家族の来訪時や家族会で出された要望等については、内容に応じて説明したり見直すなど、運営に反映させており、日頃から、家族と気軽に話し合いができるよう心がけている。家族会の開催時などで、家族のみで話し合う機会は設定されていない。	家族との意思疎通に努めているが、さらに家族の忌憚のない意見等を聞くために、家族会の際に、家族だけで話し合う機会を設けるなど工夫することを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から個々の職員の要望や意見を聞くように心がけています。また、定期的に職員ミーティングを行い、意見を聞くようにしています。	職員面談で個別に意見や要望を聞き、各セクションの会議で代表者と話し合い、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員のモチベーションを維持、向上させる為にも、外部研修等への参加、資格修得に対しての協力支援を行っています。また、職員の努力や意見は出来るだけ尊重し、意見交換をしやすい職場作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	学習会や研修には順番に参加しており、伝達講習も可能な限り開催し、研修報告書は全職員が閲覧できるようにしています、外部研修にはなるべく多くの職員が受講できるようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修の際に、他の事業所との交流を図り、情報交換や事例検討等について意見を聞いたり、関連の事業所との意見交換や情報交換に努め、ケアに活かすように努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談にてご本人やご家族より、生活歴等の情報やご本人の想いを把握するように努め、入所前には必ずご本人にお会いし、心身状態や思いを傾聴し、把握するように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談にて、ご家族が今何に困っているのか、不安に思っている事は何なのか等を十分に傾聴し、事業所としてできる事をお話しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思い、心身状態等を把握し、場合によっては地域包括支援センターや他の介護サービスのことなど、お話しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>掃除、洗濯、食器洗い、買い物等をともに行い、料理の方法や、味付け等は教えて頂く事もあり、折に触れ会話の中で、昔の高知の様子や生活を教えて頂く等を通し、ともに学び、支え合いながら過ごさせて頂いています。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入所者に起きた事柄等、必要時には連絡、相談し、話し合う事で関係を築いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>以前の住居の近所の方々の面会時には接待をし、時には職員も短時間会話に参加させて頂いたりと配慮を行い、また来訪して頂けるよう談話の中にそれとなく付け加えています。</p>	<p>家族の家や墓参りなど、利用者にとって馴染みのある場所には家族の協力を得て出かけている。親しい友人等の来訪を受けた際は、またの訪問を依頼するなど、関係が継続されるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>トラブルはよく傾聴し、職員がさりげなく間に入って解消し、時には一緒に外出する等の気持ちの転換を図る事で、良い関係作りができるよう支援しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>現状では定期的な交流はできていませんが、夏祭りなどイベント開催時にはお便りをお出ししています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の希望、意向等も傾聴、把握し、可能な限りご本人の想いに添う事ができるよう努力しています。	日々の関わりの中で、コミュニケーションや態度から、利用者の思いや意向を汲み取り、また、利用者の趣味や好みをもとに、さりげなく場面づくりや声かけをし、意向に沿うよう工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やケアマネージャー等には、事前に生活歴等に関する情報の大切さを伝え、職員の聞き取り（アセスメント）にご協力して頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の「できる事」「できない事」「できる可能性」や、心身状態の把握に努め、日々の記録や申し送りを通してご本人の現状を総合的に把握できるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人との日々の関わりの中で心身状態の把握（モニタリング）に努め、必要に応じアセスメント・ケアプランの見直し、ご家族等も含めたカンファレンスの開催に努めています。	利用者、家族の希望を聞き、計画を作成している。モニタリングを行い、3カ月毎に見直している。利用者の状態に変化がある場合は、その都度、家族の意見を聞き、現状に即した計画に見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきをノートに記入し、情報の共有を図るとともに、ケアプランやケアの実践に取り入れるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>24時間を通し、その方の状況や要望に合わせて柔軟な対応を行い。個々の満足度を高めるような支援に努め行動や気持ちを制限する事の無い様に努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>小学校の障害児学級との交流や、社会福祉協議会のイベントなど、ご本人の心身状態と希望に合わせて参加できるように協力して頂いています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回は事業所の協力医療機関である内科医の往診がありますが、他医療機関受診時には、ご家族に事前に情報提供を行ったりと受診支援を行いながら、情報の共有を行っています。</p>	<p>定期的には協力医療機関から内科医の往診が月2回ある。他の医療機関へは、原則家族が同行しているが、受診支援は柔軟に行っている。受診結果は、職員間でも情報の共有ができています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し、常に入所者の状態変化について相談、対応できるようにしています。また、協力医療機関の看護師と、気軽に相談、助言を頂けるような関係作りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>可能な限り、毎日入居者と共にお見舞いに出掛け、入院中のご本人の心身状態の把握に努めるとともに、ご家族と相談しながら医療機関に対して、ご本人に関する情報を提供、共有し、医療関係者（医師・看護師・理学療法士等）とのカンファレンスを行いながら、ご本人の状態が事業所内で対応可能となった段階での退院がスムーズに行えるよう努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期に対する指針を定めています。また、ご本人の状態の変化があるごとに、ご家族の気持ちやご本人の気持ちに注意を払い、確認し支援につなげています。</p>	<p>終末期に対する指針をもとに、本人や家族の意向を汲み取り、医師、看護師との話し合いが持たれている。また、運営推進会議でも議題となり、研修会への参加等、今後に向けて積極的な取り組みを計画している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署、看護師等による内部研修や、マニュアルを作成し、必要時に全職員が実践できるように努めています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、年数回、避難訓練や避難経路の確認、消火器の使い方等の訓練を行うように努めています。</p>	<p>今年は夜間の火災想定訓練を行い、年間2回の訓練を実施している。運営推進会議でも検討されているが、地域住民の協力は得られていない。非常用食品の備蓄についても検討中である。</p>	<p>運営推進会議の委員に地区代表者も加わっており、今後も引き続き、事業所の防災訓練に地域住民の参加、協力を呼びかけていくとともに、非常用の食料等については、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルをもとに、検討することを期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、丁寧な言葉かけではなくとも、入所者の心に届くような言葉かけを行い、プライバシーを守れるように心がけ対応しています。また、個人情報記録などは、細心の注意を払い、秘密保持が図れるようにしています。	常に尊重の念を心がけて、言葉かけや対応をしている。プライバシーや個人情報保護等について内部研修を行い、職員への徹底に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	したいこと、したくないこと等、あらゆる場面での選択や散歩や買い物等の要望等、ご自分で選択、決定して頂ける場面を作るように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れは大まかにありますが、一人ひとりの体調や意向に配慮しながら、個別性のある支援の実行に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の着替え等は、ご本人の好みに合わせ、見守り支援や、介助の必要な方はお手伝いさせて頂いたり、その方に合わせた支援をさせて頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の手伝い、盛り付け、配膳・下膳等、入所者それぞれの役割や習慣となって頂けるように努め、職員と共に行って頂いています。	利用者の出来ることが、それぞれの役割となって自然に行われている。自力で食べられない利用者の食事介助を他の利用者が行う場面もある。職員は利用者と一緒に同じものを食べている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その日、その時の一人ひとりの状態に合わせた食事形態に配慮し、栄養・水分摂取量をチェックし、不足とならないよう、ご本人に負担なく摂取して頂けるような提供をする為、創意工夫に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアについても、毎食後、職員がチェックし、一人ひとりの能力・状態に応じた支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入所者の排泄機能、状態に合わせて、定時のトイレ誘導や、自立に近い方には、（ご本人の様子から）排泄の兆しが見られたら、さりげなく誘導する等を行い、ご本人の尊厳を損ねる事の無い様に配慮し、気持ちよく排泄して頂けるように支援しています。	利用者の状況に応じて、定時にトイレ誘導を行っている。夜間はオムツを使用をしている利用者もいるが、出来るだけトイレで排泄できるよう声かけ等により支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給（摂取量の確保）、調理の工夫（寒天等の使用）を行っています。また、散歩や運動を通して便秘予防の働きかけを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間帯としては午後を設定していますが、ご本人のその時の心身状態に応じ、入浴して頂いています。	入浴の時間帯は午後としているが、利用者の以前からの習慣や希望に配慮しながら、柔軟に対応している。入浴が好きな利用者が多く、拒む利用者はいない。基本的に日曜日は入浴日ではないが、希望があれば対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の生活リズムを整え、体調、表情等考慮し、午睡が必要と思われる場合には午睡して頂いています。また、夕方からは、就寝にむかい穏やかな時間を過ごして頂けるよう、環境や声掛けにも心配りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入所者それぞれの薬の説明書を保管し、薬の目的・副作用・用法を確認し、正しく服薬ができるように支援させて頂いています。変化があれば、医師・看護師・ご家族に連絡しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活活動において、その方の得意分野で力を発揮して頂けるようお願いし、感謝の言葉を伝えるようにしています。また、個別レク時にも、その方の好まれるレクレーションの提供や外出、集団での楽しい時間の共有等、内容の工夫に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員とともに散歩や買い物、ドライブ等に行く等、日々何らかの形で戸外に出かけられるように支援しています。また、毎年、季節ごとにお花見等の外出支援を行い、ご家族にも参加して頂いています。ご本人より行きたい場所の希望が出た場合には、実現に向けて職員間で検討しています。	日常的に、買い物や散歩など戸外に出かけるように支援している。また、季節毎の花見をはじめ三味線演奏や絵画展の見学などの外出支援を行っており、車椅子の利用者も同様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いの管理は職員が行っていますが、外出時やヤクルト販売員等の来訪時には、できるだけご本人に支払いをして頂くように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話や手紙を希望される方はいませんが、いつでも対応できるように、便箋や切手は準備しています。また、ご家族等から手紙等が届いた場合には、ご本人に伝え、場合によっては代読、代筆等の支援を行ったり、ご本人がご家族に電話を掛ける等の支援を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間の光彩、温度、清潔、整理整頓には気を配り、季節に応じた飾り（雛人形・クリスマスツリー等）を設置する事で、季節間を感じて頂けるようにしています。	椅子やソファの配置を考え、利用者が居心地良く、安心感のある空間となるよう工夫している。また、壁には利用者の貼り絵などを掛けてあり、落ち着いた家庭的な雰囲気がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファ、廊下にもテーブル、チェアを設置し、入所者同士思い思いの場所で過ごして頂けるように工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際には、居室内に設置する家具類や茶碗、箸等は使い慣れた物をご自宅から持参して頂いています。</p>	<p>ベット、家具、寝具、置物など、使い慣れた馴染みの物を家族と相談して持ち込み、それぞれの利用者にとって居心地のよい居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>転倒予防を常に意識した環境整備を行い、個々の身体機能に応じて、できるだけ自立した生活を送って頂けるように、張り紙等の工夫や、見守り、介助等の必要な支援を行なっています。</p>	/	/

V アウトカム項目			
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない